福岡都市圏南部環境事業組建設検討委員会

第17回建設専門部会 会議概要

1.開催日時	平成21年9月28日(月) 10:00~11:40
2.開催場所	春日市役所 大会議室
3.出席者	(正副部会長以外は五十音順) 松藤康司部会長、神野健二副部会長、嵐谷奎一委員、浦邊真郎委員、村山博俊委員
	オブザーバー 福岡市 環境政策課 2名 外1名 春日市 環境課 1名 太宰府市 環境課長 那珂川町 環境防災課長
4.欠席者	磯望委員、包清博之委員、川本俊弘委員
5.議題	議題1 最終処分場基本計画 議題2 中間処理施設基本計画

議題1 最終処分場基本計画

【協議内容】

最終処分場基本計画について、下記の協議を行った。

1.計画平面図

今回審議を行った計画平面図(案)をもとに、計画を進めることとする。

生活環境影響調査の実施にあたっては、候補地周辺の水質について地下水の利用状況を踏まえることとする。

2.底部遮水工

底部遮水工は、候補地の地質、形状及び立地条件を加味して検討することとする。

議題2 中間処理施設基本計画

【協議内容】

中間処理施設基本計画について、下記の協議を行った。

なお、10月に開催される建設検討委員会において、建設専門部会から中間処理施設基本計画に関する意見書を提出することとする。

1.施設規模の決定方法について

建設検討委員会からの検討依頼を受けて審議を行い、災害廃棄物の処理に要する施設能力を加算して、施設規模の決定を行うこととした。

施設規模 = 要ごみ処理量 ÷ 実稼働率 ÷ 調整稼働率 + 災害廃棄物分の施設規模

2 . (仮称)新南部工場基本計画(案)

内容については、基本的な事項を記載することとした。

災害廃棄物分を施設規模に加味することについて、基本計画に明記することとした。

低炭素社会構築へ向けた取り組み目標については、今後整理を行うこととする。

中間処理施設については、下記の条件により各諸元を定めることとした。

計画ごみ質の低位発熱量については、

基準ごみ：10,100kJ/kg 高質ごみ：12,900kJ/kg 低質ごみ：7,300kJ/kgと設定する。

酸性ガス除去方式については、湿式を採用する。

窒素酸化物の処理方式については、触媒脱硝法を採用する。